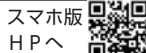




この号の主な内容

- 2面 男女共同参画推進事業所を表彰
- 3面 夏の交通事故防止運動
- 4面 市民の安全を守る消防士 Fire Fighter
- 5面 健康 6・7面 みんなの窓など

人口●198,380(+101) 世帯数●83,311(+883)
 2020年7月1日推計 ()は前年7月1日比
 発行・伊丹市広報課



早めの防災行動を 台風シーズンに備えよう

7～10月は、梅雨前線や台風の影響で大雨・洪水・暴風による自然災害が発生しやすい時期です。家庭内備蓄や非常持ち出し品、避難所などを日ごろから確認し、最新の気象情報を入手するなど、早めの防災行動を取りましょう。問い合わせは市危機管理室☎784-8166へ。

風水害に備える

風水害に備えるために必要なことは次の通り。

【側溝などのごみの除去】 道路の側溝や雨水ますにごみが詰まると雨水が流れにくくなり降雨時にあふれます。日ごろからごみを取り除き清掃をしておきましょう。

【非常用持ち出し品などの準備】 停電や水道の断水などに備えて、懐中電灯や予備の電池、携帯ラジオ、食料や飲料品などを準備しましょう。

【家の周りや部屋の対策】 家の周りの飛ばされやすい物は家の中に入れておきましょう。また、浸水が心配される地域では土のうを用意し、貴重品や家電などは高い場所へ移動させましょう。

集中豪雨に注意

集中豪雨は、積乱雲の発達が数十分単位で変化するため、予測することが困難です。

また、河川の氾濫や下水道管などから水があふれる内水氾濫などの災害は、短時間のうちに起こるため避難が遅れると命に関わります。

ハザードマップなどで避難場所を確認し、避難情報が発令されたときは速やかに避難行動を取りましょう。

ハザードマップの確認を

市は、水害に備えた防災情報を示す▽洪水ハザードマップ(3月更新)▽内水ハザードマップ▽土砂災害ハザードマップを公表しています。

各ハザードマップは市ホームページ(下二次元コードから読み取り可)から閲覧できます。自宅などが危険区域かどうか、再度確認を。

ひょうご防災ネットの登録を

市は、避難関連情報や気象警報などの防災に関する情報を提供するスマートフォンアプリ「ひょうご防災ネット」を導入しました。

いつ発生するか分からない災害に備え、インストールをお願いします。詳しくは下二次元コードから確認を。

また、今後、市が運用している「緊急災害情報メール」を同アプリ内の緊急情報等メールサービスに移行します。

避難所での感染症対策

市は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、避難所での身体的距離の確保や消毒液の設置などを徹底します。

避難所での感染症対策のため、次の協力をお願いします。

▽分散避難の推奨 避難所が過密

台風で倒れた信号機



状態になることを防ぐため、▽可能な場合は親戚や友人の家に避難▽自宅の安全が確保された場合は在宅避難—などの分散避難を視野に入れてください。

【基本的な感染防止対策】 避難所での▽マスクの着用▽手洗い▽咳エチケットの徹底—など。

被災した場合

台風などの災害で住居などに被害があった場合、原則1カ月以内に申請などを行うことで罹災証明書が罹災届出証明書の交付を受けることができます。証明書の内容は次の通り。

【罹災証明書】 災害により被災した住家や人的な被害の程度を市町村が証明するもの。条件あり。

【罹災届出証明書】 被災者から罹災の届出があったことを証明するもの。被災した対象の種類不問。

本紙7月15日号は7月3日時点の情報です。最新情報は市ホームページなどでご確認ください。

市立児童会館

愛称を募集

市は、12月25日にオープン予定の市立児童会館の愛称を募集します。

採用者には、記念品(図書カード5千円相当)を進呈。同名多数の場合は、命名理由により選定。

募集内容などは次の通り。

【募集内容】 同館に合ったもので▽覚えやすい▽親しみやすい—愛称。

【同館のコンセプト】 地域で見守る 遊び・学び・交流できる「子ども居場所」。

【同館の設備】 ▽図書自習室 ▽読書・自習スペースとして利用▽遊戯室▽遊び場や交流の場として利用▽プレイルーム▽保育スペースなどに利用▽講習室 ▽多目的室▽調理も可▽集会所 ▽グラウンド▽多目的広場 ▽屋



児童会館完成イメージ

申請は8月6日まで 特別定額給付金

市は、5月13日までに特別定額給付金の申請書を市内全世帯に発送し、約97%を受理しています。オンライン申請の受け付けは終了しました。まだ申請をしていない人は、8月6日までに郵送(消印有効)で申請をお願いします。申請書の紛失・再発行などについては問い合わせを。

市特別定額給付金コールセンター ☎784-8147

新型コロナウイルス 接触確認アプリ

厚生労働省は、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の提供を開始しました。

同アプリは、スマートフォンの近接通信機能(Bluetooth)を利用して、感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができるアプリです。連絡先や位置情報など個人が特定される情報は記録されず、プライバシーは確保されます。

詳しくは厚生労働省ホームページ(二次元コードから読み取り可)から確認を。



県新型コロナ追跡システム

県は、新型コロナ追跡システムの運用を開始しました。

店舗や施設、イベント会場などで掲示される二次元コードを読み取り、メールアドレスなどを登録すると、同店舗などでクラスター(小規模な感染者の集団)が発生したときに県から通知を受けることができます。

詳しくは県ホームページから確認を。